

あいの会・佛教青年会・かるがも会合同交流会 熱海バスハイク



さて、お待ちかねのランチタイム、熱海後楽園ホテルに到着。18階のレストランからの眺望は素晴らしく、この時を待っていたかのように陽が射しはじめ、海の色がとてもきれいに見えました。かるがも会には晴れの女神様がつかっているようです。お腹を満たした後は温泉に入ったり、お土産を選んだり、デザートを食べたりしました。



レストランからの眺望 海がきれいに輝いていました



本日のランチ



今回参加いただいた神奈川県佛教青年会の上田会長や利用者のご家族の方、またボランティアの方、ありがとうございました。来年もまた皆さんが参加しやすい企画を考えています。次回も皆様のご参加をお待ちしています。

2月15日、総勢59名、バス2台を連ねて熱海へ行ってきました。

熱海の梅園は見頃を迎えた花に多くの人でにぎわっていました。園内には川が流れ、いくつもの橋がかかっていました。滝もあり、裏側に入れるようになっていました。流れ落ちる滝越しに梅が見られるよう、趣向が凝らされていました。源泉かけ流しの足湯や茶屋などもあり、グループごとに梅の花を楽しみながら、思い思いの時間を過ごしました。



園内には500本近い梅の木があるそうです



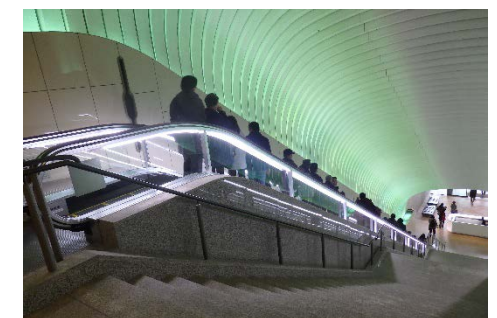
花より団子の面々

次は「MOA美術館」、移動するバスの車窓からは色鮮やかな桜が咲いているのが見えました。「あたみ桜」と命名された寒桜の一種だそうです。熱海の街は海にすぐに山が迫っているため、山頂に建つ美術館まで細くて急な山道を登っていきます。美術館に入っても7つもの長い長いエスカレーターを乗り継いでようやく展示室につきます。

モダンな外観の建物とは逆に、日本や中国の東洋美術品が展示されていました。尾形光琳の「紅白梅図屏風」をはじめ、国宝やたくさんの重要文化財を見ることが出来ました。また、展示物との間にあるガラスには映り込みを防ぐ工夫がされていて、仕切られていることを全く感じませんでした。あとからわかったことですが館内は展示物も含め写真撮影がOKだったようです。駆け足での見学でしたが、時を感じさせない美しい陶磁器や掛け軸、仏像などまたゆっくりとみに来られたらと思いました。



バスの車窓より 公園に咲くあたみ桜



MOA美術館の長い長いエスカレーター 壁面や天井も光のグラデーション